

第17回 新たな木材利用事例発表会 ～都市の木造建築を考える～

木材利用推進コンクール優良施設部門のこれまでの受賞施設の中から、都市の建築物を取り上げ、建築に携わった設計者の立場から、木質部材の調達・国産材の利用、構造、環境性能、デザインなど語ってもらいます。

主催：一般社団法人全国木材組合連合会・木材利用推進中央協議会

開催
日時

令和8年3月2日(月) 13時30分～15時50分

会場

木材会館7階ホール（東京都江東区新木場）



定員

先着150名

※WEB配信はありません。

参加
受付

WEBでの事前申込制

参加費無料！

https://www.jcatu.jp/entry_2026jirei/

■基調講演（各30分）

- 「**キャプション by Hyatt 兜町 東京**」（東京都中央区：ホテル）
【令和7年度優良施設部門 林野庁長官賞】 講演：株式会社三菱地所設計 建築設計四部
設計：株式会社三菱地所設計 チーフアーキテクト 新田佳代氏
- 「**戸田建設オフィス TODA CREATIVE LAB**」（東京都中央区：オフィスビル）
【令和7年度優良施設部門 審査委員会特別賞】 講演：戸田建設株式会社建築設計統轄部
設計：戸田建設株式会社/株式会社清和ビジネス/ 建築設計第1部 業務商業施設設計室
株式会社青丹社 室長 中川康弘氏
- 「**野村不動産溜池山王ビル**」（東京都港区：オフィスビル）
【令和6年度優良施設部門 内閣総理大臣賞】 講演：清水建設株式会社一級建築士事務所
設計：清水建設株式会社 設計長 大柳聡氏
- 「**江北小路**」（東京都足立区：共同住宅）
【令和6年度優良施設部門 優秀賞】 講演：株式会社スタジオ・クハラ・ヤギー級建築士事務所
設計：株式会社スタジオ・クハラ・ヤギー級建築士事務所 代表取締役 八木敦司氏

■全体講評

東京大学生産技術研究所 腰原幹雄 教授（優良施設部門 審査委員長）

■受賞施設ご紹介

【キャプション by Hyatt 兜町 東京】



〈主要構造〉
木造・鉄骨造・
鉄筋コンクリート造

〈木材利用量〉
約124.8m³

〈使用樹種〉
スギ・カラマツ

地上12階建ての木造ハイブリッド構造による都市型ホテル。環境負荷を抑えながら、快適性や機能性を両立し、木構造の魅力を内外装に生かした、都市部における中高層木造建築の可能性を示す先導的事例。

【戸田建設オフィス TODA CREATIVE LAB】



〈主要構造〉
鉄骨造・鉄筋コンクリート造・
鉄骨鉄筋コンクリート造

〈木材利用量〉
約43m³

〈使用樹種〉
トドマツ・
カラマツ他

木材の流通過程を可視化する“森を忘れないプロジェクト”の実装など、川上から川下までの連携が活かされた、戸田建設の内装木質化を促進する新たな取組として創られた新オフィス計画。

【野村不動産溜池山王ビル】



〈主要構造〉
木造・鉄骨造

〈木材利用量〉
約408m³

〈使用樹種〉
スギ・カラマツ

計画初期段階からBIMを活用した木材使用量の見える化などにより、ほぼ全ての木材に国産材を採用。2時間耐火認定の木質耐火構造部材、新たな木質柱梁接合部の開発など、今後の都市部での中高層木質オフィスの普及に繋がる実例。

【江北小路】



〈主要構造〉
木造

〈木材利用量〉
約365.5m³

〈使用樹種〉
カラマツ

木密地域からの移転先として近隣に整備された共同住宅。集成材厚板パネルと鉄骨梁で構成されたスラブによるFMT構法と在来軸組工法が併用されている。木密地域の課題を解決するとともに、地域の活気と賑わいを創出している。



【こんな方におすすめ!】

- ・都市部で木材利用に取り組む建築事業者 / ・先進的事例に興味のある設計者
- ・建築用材を供給する木材関係者 / ・非住宅の建設を検討する建主 等

【後援】

林野庁／国土交通省／
(公財) 日本住宅・木材技術センター／
(一財) 日本木材総合情報センター／
森林(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進協議会

【問い合わせ先】

木材利用推進中央協議会 担当 米田、黒江
〒102-0082
東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館 6 階
TEL 03-6261-9134 / FAX 03-6261-9133